【外国人にやさしいまちづくり事業Ｖｅｒ．Ｉ】

概要

本指針の策定に先立ち、平成25年度には「外国人にやさしいまちづくり事業Ver.Ｉ」を行い、地域に住む外国人にとって住みやすいまちとはどのようなまちなのか「外国人住民会議」や「講演会」「外国人トーク」などを通してＡ４版80頁の小冊子にまとめました。

以下に小冊子からワークショップの様子とアンケートなどを紹介します。詳細は北上市国際交流ルームホームページから小冊子をダウンロードできますのでご覧ください。

URL http://www.k-iah.com/kiah/activity/fri

防災に関連するミッションにおいて、防災用品が入ったリュックの中の物を使用し、日本語とイラストだけの説明書を頼りに実際にお湯を沸かし、非常食（ピラフや炊き込みご飯）を食べてもらう。

フィリピン,中国,韓国,インドネシア出身で、ある程度日本語が理解できる人たちでも、防災用品の水からお湯を沸かし非常食を作ることに四苦八苦していた（作り方の説明は、日本語とイラストのみ）。しかし、英語を話すグループよりも作業が早く、出来た炊き込みご飯は美味だった。

英語を話すグループ（アメリカ、オーストラリア、チュニジア、インドネシア）も、イラストだけを頼りにお湯を沸かすミッションに挑戦。なんとかお湯を沸かし、ピラフを完成させた。